児童養護施設 フランシスコの町







第 58

令和6年2月20日発行 ₹370-3511

高崎市金古町 830-3

TEL: 027-373-1021 FAX: 027-373-7739

https://www.francisco.or.jp/

リスマス会を開催いたしました。 の行事が出来ずにおりましたが、今年度三年ぶりにク さて、コロナパンデミックの影響で何年もの間、園内

ど初心者だった彼は、ピアノを好きになり練習を重

H君が上手にピアノを弾いていたこと。 聞けばほとん ルからピアノの音が聞こえてくるので覗いたところ、

また、最近、うれしかったこと。ある日曜日にホー

ても前向きにプログラムに取り組んだということ。お客 時間が過ぎていきましたが、三年の空白の時間の中で 様を交えてゲームや聖劇など、アッという間に楽しい ス、神父様のお話…。以前と違うのは子どもたちがと 大きく成長した子どもたちの様子がたくさん見られ 寒い中、素足の天使たちの美しいキャンドルサービ

もち米を使い、臼と杵でお餅つきをして新年を迎えま 年末には子どもたちが手で植えた米の苗からとれた

来ることで生き生きとした様子が垣間見られました。 が見られ、私まで嬉しくなってしまいます。行事が出 んなでお餅つきをしている時には職員に甘える素直さ ちのはけ口もなく、つらい時もあったと思いますが、み コロナの最中は子どもたちもストレスを抱え、気持

理事長

明美

素足の天使たち」

き心より感謝申し上げます。 皆様にはいつも「フランシスコの町」にご支援をいただ

月一日に発生いたしました能登半島の地震で甚大

る姿が眩しく感じられました。

つつ・・・職員と子どもたちが安心して関わり合ってい はオンとオフの使い方もわきまえて使うことも伝え び、それがとてもほほえましく、私もそう呼んでほ ん」、「○○っち」、などとちゃんづけやあだ名で呼

お餅つきの間、施設長や職員に対しても「武ちや

しいなぁ--と思うくらいです。もちろん、子供たち

の基盤が整います様、お祈りいたします。 舞いと黙とうをおささげいたします。一日も早く生活 な被害を受けられた皆様に職員一同、心よりのお見

隔週の土曜日にあるピアノ教室や英語のクラスが

なー・と楽しみにています。

本当に素晴らしいので卒業生を送る会でも聴けるか ね、ぐんぐん上達したとのことです。H君のピアノは

のありのままの子どもたちの姿をお話ししたいと思 少しずつ花開いていきます。本当にうれしく思いま 今回、私は出来る限りご支援者の皆様に、私目線

ます様お願い申し上げます。 うにはどうぞ、ご容赦いただけますと幸いに存じま い、様子を書き連ねてみました。様々な申し上げよ これからも「フランシスコの町」をご支援ください



卒園後も続く彼ら・彼女らのつながりの強さに感

クリスマス会終了後、退勤し帰宅する際に一人

て、「フランシスコの町でクリスマス会やるんだって、

緒に行こう」という連絡を取り合っていたとか。

た。

私にできることは、

話を聴き、励ますことだけでし

厳しい冬を耐え

施設長 武井 望

らためて感謝いたします。 も子どもたちのために支援してくださる皆様にあ とともにクリスマスを祝うことができました。いつ 引き下げとなり、施設ではコロナ禍前の行事や活 十名以上のお客様にご来場いただき、子どもたち た。その一つとして、昨年十二月にお客様を招待 動が少しずつ、着実に再開できるようになりまし してのクリスマス会を久しぶりに実施しました。四 昨年五月に新型コロナウィルスの分類が五類に

> リップの芽がわずかながら地上に顔をのぞかせて いました。この寒い冬をじつと耐え、 つい先日、施設の花壇を見ていましたら、チュー 芽を出したのです。春になれば、色とりどりの

た若者たちも、それぞれの花を鮮やかに咲かせて 施設に入所している子どもたちも、巣立っていつ

ほしいと願います。

卒園生が多数駆けつけてくれたことです。卒園し がありました。それは、この施設を巣立っていった

同時に、今回のクリスマス会では大変嬉しいこと

て以来、久しぶりに顔を見せてくれた若者もいま

した。聞けば、卒園生たちのネットワークがあっ

でいろいろと話をしていくうちに、この若者が置か の卒園生を自宅近くまで送っていきました。車内

れている状況が決して楽なものではないこと、様々

な試練に直面していることを知りました。

苦情解決報告

令和5年度の苦情解決

(令和5年7月1日から令和6年1月1日時点)

苦情・要望件数 8件(保護者0件、職員0件、地域住民0件、児童8件)

内容:施設設備6件、職員資質 0件、施設生活

施設では提出された苦情、意見を月に1回(主に第2土曜日)、外部より第三者委員2名(元教諭、地元 の主任児童委員)を招いて苦情解決委員会を開催し、対応を協議しています。結果を事務室前掲示板に張り 出すとともに当事者には担当者から個別に伝え、苦情解決に当たっています。

を探し実践していこうと思います。 少しでも明るくなるよう、 さを改めて痛感しました。 んな中でも必死に生きている彼ら・彼女らの逞し 施設を巣立っていった若者たちの厳しい現実を、 我々職員ができること この若者たちの将来が

綺麗な花を咲かせることでしょう。 積雪にも耐









稲刈り

みんなで植えた稲が実り、稲刈りを行いました。手で 刈り取るのは大変だけれど、腰を痛めながらも「稲刈」 り体験」が出来ました。

挟がけをして熟成したもち米は12月の末に餅つきを していただきます。





令和 5, 6 年度 行事予定 (1月~6月)

※今後の感染症等による情勢の変化によっては、予 定していた行事を行わない場合もございます。

1月 各棟、ユニットで冬のレクリエーション

3月 卒業を祝う会

6月 田植え



施設対抗ソフトボール大会

R5 年 8 月に行われた施設対抗ソフトボール大会 では、八幡の家とフランシスコの町の合同チームが 悲願の初優勝を果たしました!

暑い中、よく頑張りました☆



餅つき

みんなで刈ったもち米を使って餅つきをしまし た。みたらし味、きな粉、おろし大根、あんこなど など、味変しながら美味しく食べられました♪





退職する職員からのお別れの挨拶

日下幸夫さん

私は平成元年に入職し、 三十五年、フランシスコの町に お世話になりました。

まずは指導員として、棟主任とし

て、家庭支援専門相談員として、副施設長として、 そして施設長として自分が何をすべきかを考えてきました。その時々の立場として男子児童の中卒からの脱却、職員と子ども達が意見を出し合い、心から笑って過ごせる棟運営、児童の適切な家庭復帰と自立に向けた調整、施設長へのサポート、そして集大成としてのいじめ等暴力の撲滅と、児童と職員が目標に向かいあい、なおかつ安心して過ごせる施設づくり等々。

しかしその長としての目標が道半ばで潰えてしまったのが心残りです。その後地域小規模担当としての五年がたち、この度定年を迎えることとなりました。今思うことは、三十五年にわたり様々な方達との出会いがあったことが大きな財産です。ライオンズ、ロータリークラブ等の支援者の方々、児童相談所や他施設の職員の方々、町のドッジボール部等地域の方々、歴代職員の皆さん、そして子ども達。

卒園した子ども達の中には、懐かしがって施設に来てくれる子もいます。今年度は漫画家になった女の子が家族三人で、また、大阪の親に引き取られた男の子が、婚約者と結婚の報告に来てくれました。毎年のように卒園した子ども達が来てくれたのが何よりの喜びでした。皆さんありがとうございました。私は退職いたしますが、このフランシスコの町の子ども達のことを今後ともよろしくお願い致します。そして施設の子ども達、職員が目標に向かって、安全に、安心して笑って過ごせる施設になるよう心より願っております。

石澤すみれさん

約2年間大変お世話に なりました。目まぐるしい 毎日ではありましたが、 本当の我が子のように愛を 持って支援してきました。



私にとっても成長や学びを深めることができ、子どもたちにと過ごした一瞬一瞬が大切な思い出です。 難しい仕事ではありましたが、職員の皆様のおかげで無事勤めさせて頂きました。

フランシスコの町で働けたこと、とても光栄に思い、これからも胸を張って生きたいと思います。これからの皆様の益々のご活躍と健康を心からお祈り申し上げます。本当にありがとうございました。

別府優樹さん

私は、平成23年4月に入職し、 13年の月日が流れました。 長いようで短い期間でした。



子どもたちと遊んだり、語り合ったり、時にはぶつかりあうこともありましたが、子どもたちの将来を担う凄くやりがいのある、誇りある仕事でした。子どもたち、お世話になった職員の方々と離れること、とても寂しく思います。

私自身13年間お世話になるなかで、子どもたちの可愛さ・無限の力、人を大切にすること、人に寄り添い傾聴することの大切さ、1人でなくチームで対応することの大切さ等々、生きていくうえでの大事なことを学びました。沢山の思い出も含め、全てかげがえのない宝物です。感謝しても感謝しきれない思いです。

子どもたちには今後様々な困難もあるかと思います。

願いはただ1つ、"幸せになってほしい"。 私はフランシスコの町から離れはしますが、皆様 の幸福を心より祈っております。

本当にお世話になりました。ありがとうございました。



















3 年ぶりにクリスマス会を開催することが出来ました!初めてクリスマス会を行う職員もいる中、施設を退所した職員や卒園生と交流も出来てアットホームな雰囲気のクリスマス会でした。今後も試行錯誤しながら、来所された方と子どもたちが一緒に楽しめるようなクリスマス会を考えていきたいと思います。

(左の写真はビンゴマーン!と彼を呆然と見守る子どもたちです)



「フランシスコの町奨学金」へご協力のお願い

「フランシスコの町 奨学金」にご理解とご協力をお願い申し上げます。

奨学金お振込先

銀行:群馬銀行 金古支店 振込先:フ 0818154

名義:フランシスコの町 奨学金

奨学金を下さった方々

(順不同、敬称略 令和5年7月1日~令和6年1月末まで)

石原勝代、齊藤博、峰岸沙織





皆様の善意に感謝いたします

(令和5年7月1日~令和6年1月末までに頂いたものについて)

寄贈品を下さった方々 (順不同、敬称略)

西野雅裕、反町彩子、アミラの店、ガラードグルー プ、学校警察連絡協議会、門司一徹、榛名酪連、大 渡自動車学校、原田・ガトーフェスタハラダ、ワー クランドらくま、北関百瀬、冨沢、ドンレミー、真 庭農園、育成会、西巻磨瑠、小嶋俊、埼玉ネクサス、 ヒライマナミ、Dステーション、もとやま、伊勢崎 市民生・児童委員、全国シャンメリー協同組合、北 川眼科、DIC 労働組合、JR 東日本労働組合、田端、 成田、梅本蒼生、岡田賢一、十屋神父、新井、フィ リップモリス、笑顔と感動を届けるプロジェクト、 サニークリーン、金谷重男、岸秀夫、髙橋健次、明 治安田生命、高崎市社協、田沼、ほっともっと、コ ストコ、金古通級、毎日新聞社会事業団、今井靖彦、 P&G、フレーベル館、増樹、山田製作所 結鷲会、 その他匿名の方々、お食事券などを寄贈してくだ さった方、皆様、ありがとうございました。

赤い羽根共同募金様より

入所児童の普通免許取得支援事業で 2 名分の分配を頂きました。県民の皆様から寄せられた貴重な浄財だということを、子どもたちにも伝えさせていただき、しっかり運転免許を取得するように伝えます。本当にありがとうございました。





編集後記

年が明けて、早1ヶ月が過ぎてしまいました。年齢を重ねるごとに時間があっという間に過ぎていくような気がしますが子どもたちにとっては、一日一日が長く、まだ家に帰れないのかと苦痛に感じている子どもも多くいると思います。子どもたちが少しでも子ども自身の理想に近づけるように、少しでも施設も悪くなかったかもな、と思ってくれるように、日々の支援をしていきたいです。(櫟)



寄付金を下さった方々(順不同、敬称略)

前橋北ロータリークラブ、反町彩子・千江子、おそうじ Factory 代表 髙橋洋満、小池和也、下仁田町更生保護女性 会馬山支部、JA、DIC グラフィックス(株)群馬工場、DIC 労働組合群馬工場支部、高崎天使幼稚園、吉井一、吉井敦子、 群馬町協会婦人会、堀口政勝・堀口君子、徳蔵寺 多昌伸浩、 國時武、メッツクラブ原田明、その他匿名の方々、心より御 礼申し上げます。

昨年9月にミュージックフォーチルドレンの方々が来所し、 美しいピアノとバイオリン、歌を披露して頂きました。生の音楽に触れる機会がほとんどない子どもたちの心に、音楽が響き渡った一日でした。ありがとうございました。

フランシスコの町では、子どもたちに文化を感じられるような情操教育を重視していきたいと考えています。このような芸術的な企画や、コンサートを寄贈してくださる方がいらっしゃいましたら是非ともご連絡ください。





フランシスコの町では随時寄付・寄贈を受け付けています。 寄贈品についてですが、衣料品やランドセルを含む文房具は 子ども達の好みに合わせたものを購入させて頂いておりま す。ご寄贈頂ける際には、電話でお問い合わせくださいます よう、お願い申し上げます。皆様の温かいご支援をお待ちし ております。

> ~ご寄付金お振込先~ 銀行:ゆうちょ銀行

振込先:00380-2-17094 名義:フランシスコの町 友の会